

校区再編の推進について



鳥取市教育委員会教育総務課校区審議室

2 鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針について

1

本案の基本的な考え方

- (1) 未来を担う子どもたちにとって平等で適切な教育環境の実現を最優先とします。
- (2) おおむね20年後の姿を想定し全ての校区で検討組織の立ち上げを促します。
- (3) 今後の学校のあり方については地域での責任ある議論を重視します。



- ・鳥取市全体としての枠組みを決めています。
- ・個々の学校配置については地域の意見を尊重して決定していきます。

2 鳥取市立学校適正規模・適正配置基本方針について

2

本市としての適正規模の基準

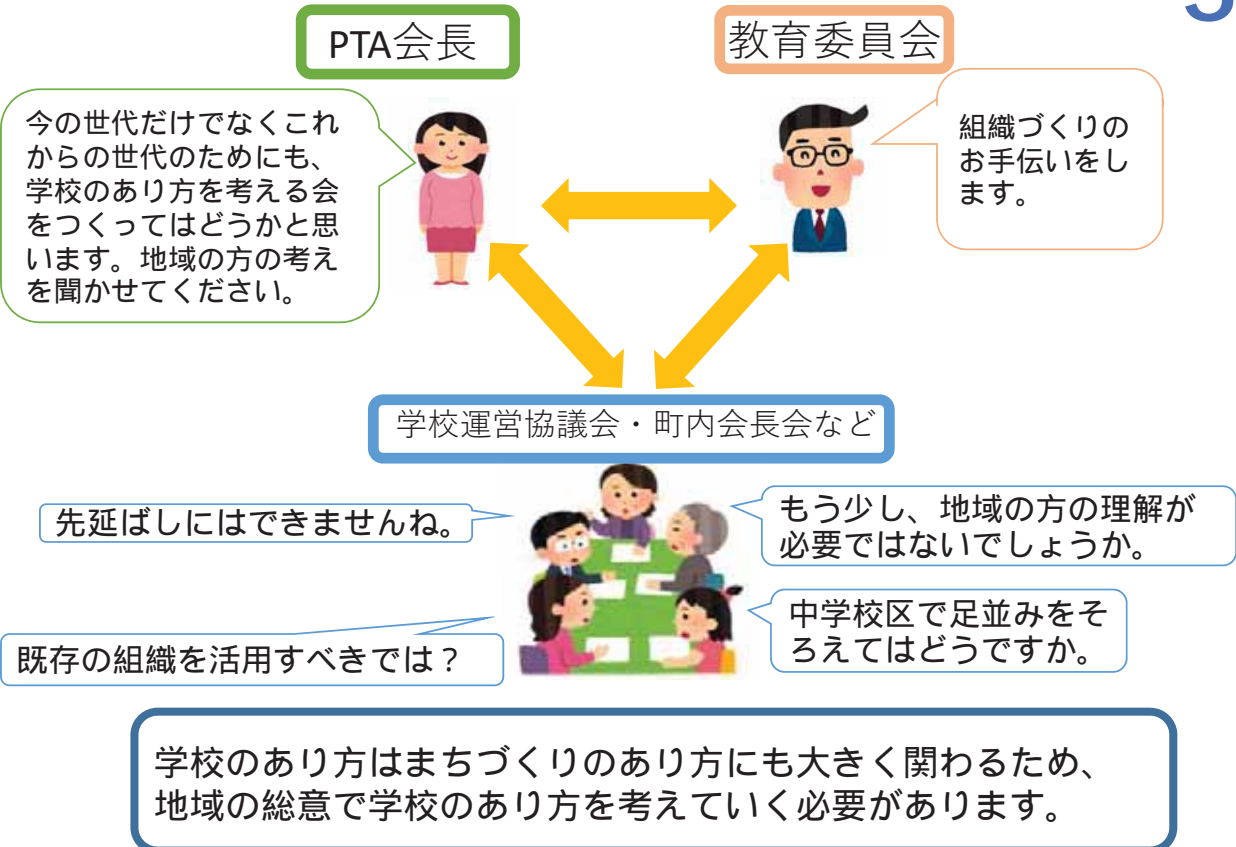
	小学校	中学校	義務教育学校
1校あたりの学級数	12 ~ 18	9 ~ 18	9 ~ 27
	学級	学級	学級

鳥取市校区審議会で検討



3 検討組織（学校のあり方を考える会）設立について

3



各校区の検討組織の立ち上げ状況 アンケートの結果

状 況	学校のあり方を考える会 （既存組織の活用を含む）	
	立ち上げ済み	立ち上げ検討中
小学校 (全39校)	8校	23校
中・義務教育学校 (全17校)	1校	9校

令和4年7月にPTA組織にアンケートを実施

〈経緯〉

- 平成29年8月
逢坂の教育を考える会より新設統合の要望書が出される。
- 令和2年
3月～9月 宝木、瑞穂、浜村各地区より同様の要望書が出される。
12月 定例教育委員会で気高中学校校区の小学校のあり方について方針を決定
- 令和3年3月～令和4年4年3月（9回の会議 1回の書面審議）
PTA及び各校区の代表、学校長、園長等で構成される「気高地域学校統合準備委員会」が組織される。
- 令和4年2月
気高地域学校統合準備委員会より検討結果及び要望が提出される。
(略)



第1回気高地域学校統合準備委員会の様子



【久野委員長（左）が尾室教育長に報告書提出】

〈現在の状況〉

- 令和4年
4月 庁内検討会議を設置し協議を開始する。（4月～8月 4回の会議）
- 11月 気高地域学校統合に関する第1回関係者会議を立ち上げました。
- 12月 第2回関係者会議
関係者会議より報告書提出が提出される。